

2025 年 12 月 25 日

各 位

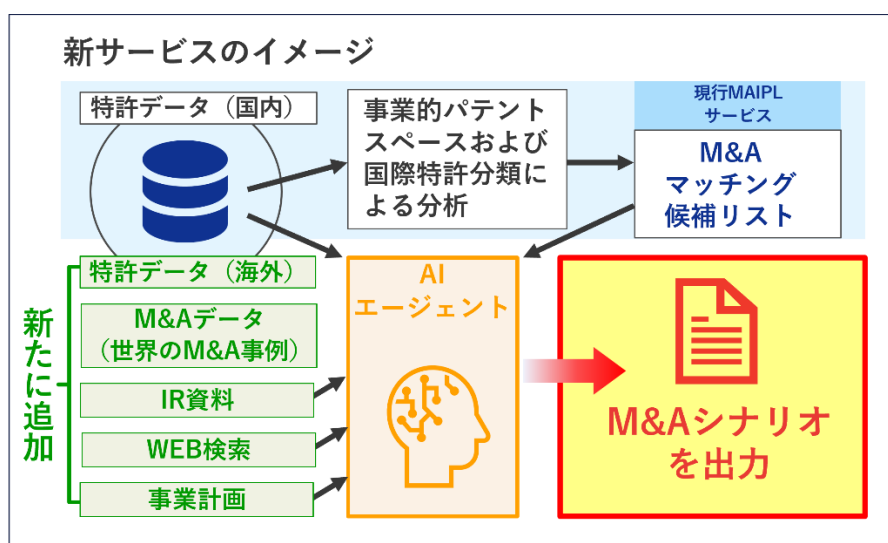
会社名 株式会社ストライク
代表者名 代表取締役社長 荒井 邦彦
(証券コード：6196 東証プライム)
問合せ先 広報部 (03-6848-0101)

知財データを活用した AI エージェント型 M&A マッチング「MAIPL2 (仮称)」

実現に向けた共同研究の開始についてのお知らせ

～東京大学・大分大学・UTEC・正林国際特許商標事務所、ストライク～

M&A 支援の株式会社ストライク（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荒井邦彦 以下「ストライク」）は、国立大学法人東京大学、国立大学法人大分大学、株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ（以下「UTEC」）、弁理士法人正林国際特許商標事務所と、M&A に関する知財データ駆動型アプローチの共同研究契約を締結し、2025 年 12 月より共同研究を開始しましたのでお知らせします。



▲共同研究のイメージ

本共同研究では、国内外の特許データと世界の M&A 事例データ、東大・坂田研究室が開発した「事業的パテントスペース」や国際特許分類（IPC）などを活用し、技術系企業に対する M&A 候補企業のロングリストを自動作成し、その根拠を説明する LLM Agent（AI エージェント）システムの構築を目指します。ストライクが提供する現行の特許データ活用サービス「MAIPL」を進化させた「MAIPL2 (仮称)」の基盤技術となることを想定しています。

共同研究の概要

- 研究題目：M&A に関する知財データ駆動型アプローチの開拓

- **研究目的：**特許情報を用いた技術的 M&A の自動ログリスト作成および説明を行う
- **研究期間：**2025 年 12 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

研究実施場所：

国立大学法人東京大学、国立大学法人大分大学、UTEC、弁理士法人正林国際特許商標事務所、ストライク

目指す姿：AI エージェントによる「特許×M&A」マッチングの高度化

本共同研究で構築を目指す「MAIPL2（仮称）」は、企業が保有する国内外の特許データや公開情報をもとに、M&A 候補企業を自動で抽出し、シナジーが見込まれる理由を分かりやすく提示する仕組みです。世界の M&A 事例との照合も行うことで、従来の人手中心の検討では見落とされがちだった候補も含め、より広く・深くマッチングの可能性を探ることを目指します。

これにより、技術系企業の成長戦略型 M&A における候補探索の効率化特許・技術の強みを起点とした新しい M&A 戦略の提案中堅・中小企業における知財活用の裾野拡大につなげていきたいと考えています。

ストライクは、大学・VC・知財専門家との産学連携を通じて、M&A 仲介の現場に先端技術をいち早く取り入れ、「特許で創造する M&A マッチング」の実現に取り組んでまいります。

【本件に関するお客様お問い合わせ先】

株式会社ストライク 未来戦略室 鈴木

TEL：0120-552-410

E-mail：info@strike.co.jp

【株式会社ストライクについて】

名 称：株式会社ストライク

所在地：東京都千代田区大手町 1-2-1 三井物産ビル 15 階

代表者：代表取締役社長 荒井邦彦

設 立：1997 年 7 月

資本金：8 億 2,374 万円（2025 年 9 月 30 日現在）

事業内容：

- ・ M&A の仲介
- ・ M&A 市場 SMART の運営
- ・ 企業価値の評価
- ・ 企業価値向上に関するコンサルティング
- ・ 財務に関するコンサルティング
- ・ プレマーケティングサービス

上場市場：東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6196）

従業員数：452 名（2025 年 9 月 30 日現在）

加盟協会：一般社団法人 M&A 支援機関協会

URL：<https://www.strike.co.jp/>